

## 杉浦非水 SUGIURA Hisui

杉浦非水(1876-1965/松山市出身)は、日本におけるモダンデザインの先駆者として高く評価されています。はじめは日本画を学んでいましたが、東京美術学校(現・東京藝術大学)在学中に、フランス帰りの洋画家・黒田清輝がもたらしたアール・ヌーヴォー資料に魅せられ、図案家としての活動を始めます。

大正・昭和初期にかけて、三越呉服店(現・三越)図案部主任として同店の広告デザインを一手に担い、看板デザイナーとして活動し、「三越の非水か、非水の三越か」とまで称されました。その他、東京地下鉄、カルピスなど様々な企業の広告のほか、書籍装丁、雑誌表紙、自身の図案集刊行など八面六臂の活躍を広げた非水の作品群は、現在でいう“グラフィックデザイン”の原点であり、近代日本美術史上きわめて重要な位置を占めています。

当館では、ポスター、装丁、図案集といった代表的作品をはじめ、創作の背景を知るためのスケッチ、遺愛の品々なども含め 7,000 点に及ぶコレクションを所蔵しています。



《三越呉服店 春の新柄陳列会》

1914(大正 3)年

リトグラフ/紙

105.6 × 76.4cm

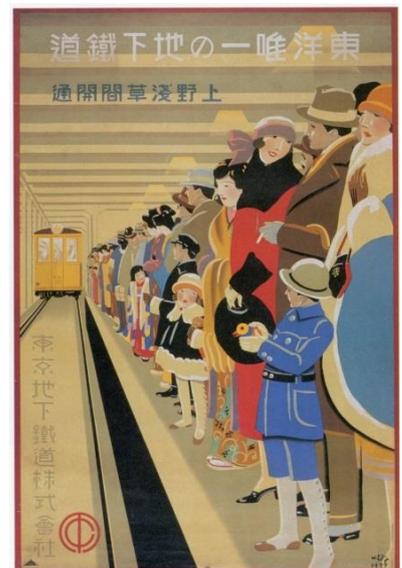


《爽快美味慈強飲料 カルピス》

1926(大正 15)年

リトグラフ/紙

75.8 × 33.8cm



《東洋唯一の地下鉄道

上野浅草間開通》

1927(昭和 2)年

オフセット/紙

91.4 × 62.0cm



菊池幽芳著《百合子》上・中・下

1913(大正 2)年

書籍(装丁)

(函)(各)23.1 × 16.0 × 2.5cm



『東京』第一巻第二号

1923(大正 13)年 10 月

雑誌(表紙)

22.7 × 32.8cm



『非水百花譜』より《椿》  
1929-34(昭和 4-9)年  
木版／紙  
47.0×32.0cm



『非水創作図案集』  
1926(大正 15)年  
印刷／紙  
(各)36.5×27.5cm



《画帖[島根時代]》  
1904-05(明治 37-38)年  
鉛筆、色鉛筆、水彩・紙  
11.5×19.5cm ほか



《光》  
1936(昭和 11)年(商品発売年)  
たばこパッケージ  
7.0×3.4×1.8cm



《旅行鞆(非水旧蔵)》  
54.0×88.5×60.5cm